

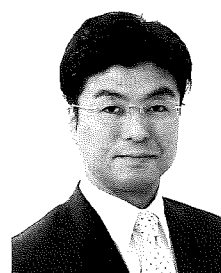
湯の華だより

2025年8月 No.116



管外視察研修 黒川温泉観光旅館協同組合との意見交換会（記事は4ページ）

城崎町湯島財産区 新管理者挨拶



門間雄司 管理者

城崎町湯島財産区議会「湯の華だより」の発刊にあたり、ご挨拶を申し上げます。

この機会に、市政・区政を担当するにあたっての所信を明らかにし、湯島区民皆様のご理解を賜りますとともに、今後の区政運営につきまして、格別のご支援、ご協力をいただきたいと思います。

〈豊岡市政の運営〉

さて、このたびの市長選挙におきまして、豊岡市の第3代市長に就任し、同時に城崎町湯島財産区の管理者となりました。

多くの期待と職責の重さをあらためて認識し、身の引き締まる思いをいたしております。今後の市政運営にあたっては、より一層市民の皆さんとの対話を重ね、このまちの未来を切り拓いていくために、全身全霊を注ぎ、誠心誠意を尽くしてまいります。

ご承知のとおり、全国的な過

疎化、高齢化、そして人口減少という大きな波は、ここ豊岡にも深刻な影響を与えており、その現状の打破を切望する多くの声が寄せられています。この厳しい現実から目を背けることなく、真正面から立ち向かい、希望に満ちた豊岡の未来を創造していくことが、私に課せられた使命であると感じています。

市政推進にあたっては、市民一人ひとりに寄り添い、地域の声に耳を傾けながら、「子育て」、「経済」、「安心安全」、「交流」、「学び」の五つの柱を中心に据え、豊岡の新たな未来を拓いてまいります。

〈城崎町湯島財産区の運営〉

城崎温泉の魅力は、何といっても外湯めぐりと情緒ある町並みだと思っています。

この魅力を守り、そして、磨き上げていくことが、城崎温泉のさらなる発展につながるものと考えています。

城崎町湯島財産区の果たすべき役割としまして、地域の共有財産である温泉を、共存共栄の精神により大切に活用させていただきながら、将来にわたり守り抜くため、源泉、配湯設備、外湯などについて適切な管理を行ってまいりたいと考えています。



区議会

六月定例会

(6月24日)

令和6年度城崎町湯島財産区繰越明許費繰越計算書について

令和6年度補正予算(第5号)により繰越明許費として議決された事業について、令和7年度へ繰り越すべき事業費並びに財源が確定したこと及びその内容について当局から報告がありました。事業名は配湯源泉管理費で、繰越額は1580万8千円となっています。

令和7年度豊岡市城崎町湯島財産区特別会計補正予算(第1号)

令和7年度豊岡市城崎町湯島財産区特別会計補正予算(第1号)は賛成多数で可決しました。本補正予算の主な内容は「条例改正に伴う議員報酬及び議員期末手当の減額」として393万8千円の減額、浴場管理費では、御所の湯高圧受電設備の経年劣化による更新で250万円の増額、配湯源泉管理費では、配湯所に設置されている、外湯

しつもん

6月の定例会では、次のような一般質問を行いました。
質問及び答弁の趣旨は区議会広報委員会で編さんされたものです。

保有山林の熊対策について

問 垣谷議員

令和5年12月に一般質問をさせていただき、危険な倒木等により撤去等の対応として、費用面と人員面の状況を鑑みて対応する方向との答弁がありました。5月には、山から下りてきた熊が温泉街を徘徊する事態がありました。熊が山から人里に下りてこない対策方法が有るか等、専門家に相談する必要もあるかと思いますが、餌となる木の伐採、音のする装置として防災無

線の配置など、保有山林になんらかの施しをするべきと考えます。

1人で外を歩けない町にならないような対策が必要であり、山林管理の一環としてはどのようなお考えかお聞かせください。

答 門間管理者

湯島財産区が保有する山林は、鋳物師辰峠側の来日山登山口付近から温泉街にかけて約74ヘクタールと広く、財政的、人力的な理由により、その管理につきましては、危険な倒木等により、撤去等の対応を行っている現状です。

したがいまして、獣害対策や自然災害の予防のための計画的な伐採については、厳しい状況であるというのが正直なところ

です。
熊対策は、法律に基づき兵庫県が策定した管理計画に基づき市町で熊の捕獲・防除等を実施されています。

豊岡市では、①人とクマが棲み分けできる環境づくりとしてのバッファゾーン整備、②目撃情報を収集し、市民の皆さまにお知らせする「クマ目撃マップ」の運用、③出前講座による啓発、④誘引物となる柿などの不要果樹伐採の呼びかけなどが行われています。

しかしながら、市内の熊の出没・目撃件数は増加傾向にあり、本年5月には城崎温泉街にも熊が出没したり、但東地域では熊に襲われ怪我をされる事案も発生しており、市民や観光客の安心・安全の確保が課題となっています。

湯島財産区管理者といたしましては、こうした兵庫県と豊岡市の動きに注視しながら、財産区の山林管理の一環として取り組めるものがあれば、適切に検討していきたいと考えています。

新市長(新管理者)の温泉行政の取り組み、考え方について

問 井上議員

城崎町湯島財産区におきまして、鴻の湯をはじめとして施設の建て替えを軒並みに考えなければならぬ時期にきています。30年前に比べてその建設費は莫大なものとなっています。

浴場整備基金も十分でなく資金調達が大変厳しいかと思えます。

この先の浴場整備をはじめとして、浴場委託業者の問題等、山積しています。新管理者の温泉行政への取り組み、基本的な姿勢についてお聞かせ願いたい。

答 門間管理者

城崎温泉の魅力は、何といても外湯めぐりと情緒ある町並みだと思えます。浴衣を着て温泉街をそぞろ歩きながら、外湯めぐりを楽しむスタイルは、日本の温泉地の原風景と言われています。これにより、国内外の人々から選ばれる温泉地になっているものと思っています。

この魅力を守り、そして、磨き上げていくことが、城崎温泉のさらなる発展につながるものと考えています。

城崎町湯島財産区の果たすべき役割は、地域の共有財産である温泉などを、共存共栄の精神により大切に活用させていただきながら、将来にわたり守り抜くため、源泉、配湯設備、外湯などを適切に管理していくことであると認識しています。

今後の管理運営におきましては、議員ご指摘のとおり、6つの外湯の大規模改修、配湯タンクの更新など多額の財政需要を要する事業が控えていたり、外湯運営に係る従事者の確保が困難になってきているなど、課題が山積しております。議会と連携しつつ、一つ一つ課題を整理し、前に進めてまいりたいと考えています。

湯の華だより

入浴券管理システムのバックアップ回線の増設について

問 藤原議員

5月5日未明の旅館火災において近隣が長時間停電しましたが、地蔵湯、一の湯のネット回線も長期間にわたり不通となり多くのお客様並びに区民・市民にご迷惑をおかけしたところで

答 門間管理者

今後、このような事のないように入浴券管理システムのバックアップ回線の増設を考えるべきと思いますが如何でしょうか。

5月5日未明に発生した火災により、被災されました財産区民の方には心よりお見舞い申し上げます、一日も早い復旧と、日常生活を取り戻されますよう、お祈りいたします。

本火災では、火災現場に隣接する電柱から一の湯方向へ大谿川を横断する光ファイバー線が焼損し、一の湯と地蔵湯を含む地域のインターネット通信回線が寸断され、このことで2軒の外湯では入浴券管理システムが使用できなくなりました。

5月7日21時頃に復旧はいたしました、それまでの間、外湯をご利用のお客様には大変なご不便をおかけいたしました。議員ご指摘のとおり、インターネット回線が不通となった事態に備え、現在契約している通信回線の代替手段として、バックアップ回線の必要性を認識いたしました。したが、現在の契約に加え、別途もう1回線契約して補完するとしますと、費用対効果の面からすぐには難しいものと考えます。

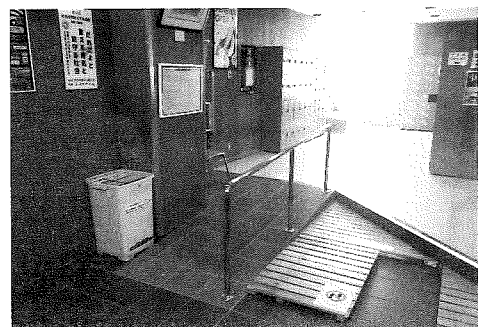
今後、キャッシュレス決済の導入なども考慮した場合、これまで以上に通信環境の重要性が高まると思いますので、信頼度の高い通信手段の確保の方策について、研究してまいりたいと思います。

委員会のつぎ

総務財産 常任委員会

総務財産常任委員会では、6月9日に長崎町、柳町周辺の山林及び墓地の視察を行いました。また、今後予定されている外湯の設備更新に関する事業予算の精査を行っています。

さらに、「城崎温泉供給条例の改正（事業承継・泉源等）」について協議をしています。特に事業承継においては今までは



地蔵湯 ロビー

温泉 常任委員会

▼工事の状況及び予定について
今年度予定している地蔵湯、御所の湯、柳湯、第1地区配湯ポンプ、28号泉ポンプ、配湯タ

ンクの工事及び改修計画の策定等並びに3月、4月に行った配湯設備点検結果に基づくポンプ等の更新、備品等購入の検討について報告を受けました。

▼まんだら湯での入浴者負傷について
5月10日に発生した入浴客転倒事故を受け、現場に滑り止め加工等の対策を行ったことについて報告を受けました。

▼ユニバーサルツーリズムについて
シャンプー等のボトルへユニバーサルデザインを導入すべく協議を行い、予算面も考慮した上で既存ボトルへのシール貼付の検討を進めることで意見の一致を見ました。

▼夏期における外湯の設定温度について
夏至から秋分を目安として、一の湯と御所の湯の設定温度を昨年同様に下げることで意見の一致を見ました。

▼管内視察研修について
10月27日（月）、神戸みなと温泉連で実施することを決定しました。

▼外湯全般について
転倒等事故の防止、盆及び年末年始における休湯日の設定、温泉まつり期間の外湯無料開放の拡大、災害時における外湯でのインバウンド向けの避難誘導、一日入浴券の不正使用防止等について協議しました。

夏から秋分を目安として、猛暑に対応するため、「一の湯」と「御所の湯」の浴槽内の温泉の温度を下げています。

区議会のつぎ

- 《5月》
15日 総務財産常任委員会
26日 温泉常任委員会
- 《6月》
9日 区有財産視察（長崎墓地等）
9日 議長・副議長・委員長会議
24日 第2回城崎町湯島財産区議会定例会
- 《7月》
2日～3日 管外視察研修（熊本県阿蘇郡等）
11日 温泉常任委員会
15日 総務財産常任委員会
28日 広報委員会

一の湯・御所の湯
浴槽内の温泉の温度を下げています

夏から秋分を目安として、猛暑に対応するため、「一の湯」と「御所の湯」の浴槽内の温泉の温度を下げています。ご理解のほどお願いいたします。

管外視察研修

今年の視察研修は熊本県の有名温泉地であり、地域資源を活用、循環させる地域づくりを推進されている黒川温泉と、内牧温泉、垂玉温泉にて視察研修を行いました。

本年7月2日3日に、昨年より21日早い6月27日梅雨明けによる真夏日の中、伊丹空港より熊本空港へのフライト移動とバス移動の行程で、熊本県黒川温泉、内牧温泉、垂玉温泉へ1泊2日の視察研修を行いました。

黒川温泉は、城崎温泉への視察に来られるなど、幾度も情報交換を行っている温泉地です。

「黒川温泉一旅館」を地域理念として、世界が認める日本の里山温泉地で働く人々と想いをひとつに黒川温泉で働くスタッフの育成研修・キャリアサポートを積極的に取り組まれていました。

黒川温泉観光旅館協同組合による視察説明会では様々な取り組みを紹介いただきました。

「持続可能な開発目標（SDGs）」の17の目標に沿った持続可能な豊かな地域を目指した以下のような取り組みに感銘を受けた次第です。

「入湯手形」による湯めぐりは、1枚1500円で好きな3か所の露天風呂へ入浴でき、南小国町ブランド「小国杉」を使用し「三養会」と呼ばれる地域の老人会が作られた木製の入湯手形は旅の記

念品にもなっていて、こちらが維持管理の為に大きな収益になっているとのことです。

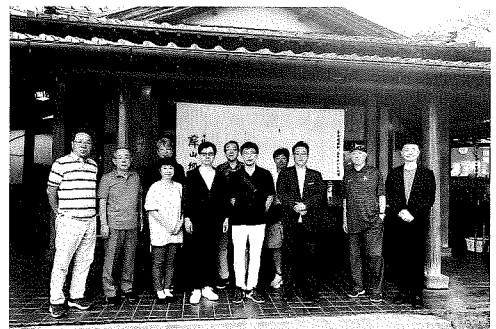
「景観づくり活動」による共同看板の設置、「湯あかり」と呼ぶ竹ひごで作られた鞆灯笼を住民が総出で実施される制作設置、「共同資源の活用」による共通雪駄・共通傘、「地蔵湯」と「穴湯」の2か所ある共同浴場を地域で管理運営され、また、「転泊」と呼ぶ宿泊方法は1泊毎に旅館を変えて宿泊する仕組みもありました。



黒川温泉街を視察

17の目標を阿蘇郡南小国町周辺の自然環境を広く観光資源として2030年までに達成するために、中長期計画・持続可能な地域を目指して住民が一体となり、掲げられた未来ビジョン実現に向かって活動されています。

一行は、黒川温泉の説明会のあと、旅館の露天風呂に入浴でお世話になり、黒川温泉の地蔵堂を中心として温泉街を視察し、宿泊先である内牧温泉の蘇山郷に宿泊。



内牧温泉 蘇山郷

翌日午前中は隣の宮崎県で先進的な山林管理が行われている高千穂峡周辺まで足を運び、現場を視察しました。また、平成28年の熊本地震で被災され、令和3年に再開された「垂玉温泉 瀧日和」に立ち寄り、金龍の滝付近の硫黄泉に入湯し帰路につきました。

（城崎町湯島財産区議会議員 垣谷託司）

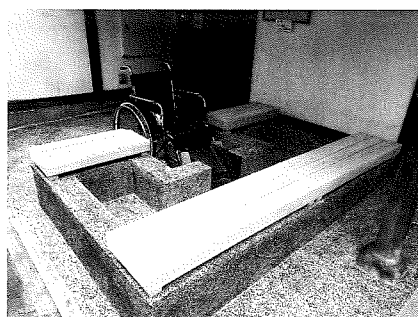
地蔵湯・柳湯改修工事が完了

（ご協力ありがとうございました）

地蔵湯につきましては、ユニバーサルツーリズムに対応するため、玄関入って左側にスロープを設け、玄関ホールの床も、滑りにくい素材のものを使用して新しく張り替えました。また浴槽の手すりも増設しました。

柳湯につきましても、ユニバーサルツーリズムに対応するため、すべりにくい浴槽のかまちに変更し、手すりを増設、その他老朽化した箇所の補修を行いました。

また柳湯の横にある足湯につきましても、車いすのまま足湯をご利用いただけるよう改修を行いました。工事期間中、ご利用の皆様には、ご不便をおかけしましたが、ご理解、ご協力いただきありがとうございました。（事務局）



柳湯 横の足湯

御所の湯の工事予定について

9月下旬から約1か月間の予定で工事をを行います。

空調設備や露天風呂の木材部分、建具など老朽化に伴う改修工事を予定しています。（事務局）

【お詫び】

湯の華だより 5月号に掲載した「区議会のうごき」の「道智上人墓参（温泉寺）」の日にちに誤りがあり、「24日」と記載すべきところを、「15日」と記載しておりました。

訂正してお詫びいたします。

（事務局）